花巻市民芸術祭
第18回文芸大会

生涯学習の発表の場として、令和6年も開催された花巻市民芸術祭。11月16日には、石鳥谷生涯学習会館で第18回文芸大会が開かれました。この大会の入選作品を紹介します。

【短歌】

作品募集の部

天位　弓なりの月に暫く立ち尽くす私は悩みひとつ抱へて
地位　藷を掘る軍手の指先みな余り空に弾ける児らの声かな
人位　秋の陽が部屋の奥迄差しこめば埃も見せて遺影明かるし

当日詠の部

互選最高点歌賞
我つつむ小春日和のやさしさに抱かれ微睡み幼子となる
特選　杜氏の里「双子の星」の刈田あり田んぼアートの夢は果てなし
特選　酒の蔵虹色ボトル携えて誰に土産かバスに乗り込む

中学生の部

奨励賞　立春の風に吹かれる木々の下大人になる式鼓動高鳴る
早池峰の山にかかりし白雲のたなびく姿秀麗な白
帰り道落ちこむ時にはげまされ優しい友とうれしい時間
ゴーグルをしっかりつけて深呼吸勝ちたい気持ち祈る一瞬
初夏の風君の額に汗つたう届けと祈る私の想い

小学生の部

奨励賞　たのしみはベニーランドで遊んだり遊覧船で島を見た時
たのしみはバスの車内で友達とこれからの予定話し合う時
たのしみはあたたかすぎるふとんの中でうずくまって二度寝する時

関園子
河津詠太郎
平沢裕子

平沢裕子
熊谷敏子
高橋恵理子

佐々木珠莉（大迫中2年）
佐々木春輔（同）
高橋礼佳（花巻中2年）
伊藤武琉（花巻北中2年）
照井和奏（西南中2年）

八重樫祐（笹間第一小6年）
荒山佳穂（同）
高橋麗湊（同）

【詩】

芸術祭賞
「魂の色」　大森敦子

優秀賞
「来世があるのなら」　有原すみれ

奨励賞
「立ち止まる」　伊藤諒子

佳作
「年相応」　朝倉了子
「秋の色」　ルディア・ひろこ
「一輪のバラ」　佐々木茂夫

中学生の部

奨励賞
「土」　阿部圭吾（大迫中1年）
「蜘蛛」　丸田和（同）
「はちわれねこ」　成田姫星（花巻中1年）
「新しい第一歩」　澤田佳音（西南中3年）
「支え合い」　伊藤愛華（湯本中1年）
「ゆうれい」　高木龍之介（同）
「夜」　長澤絆吏（同）
「辛いときには」　檜山愛衣莉（同）

【俳句】

作品募集の部

団体賞　あしたば句会

特選
一房の隙なき重さマスカット　菅原砂登子
詠むことを生きる力に豊の秋　栗城静子
蛍籠めく終電の一両車　関園子
吟行やひとつ高みへ道をしへ　蛯沢秀一

当日句の部

互選最高点句賞
みづうみに裾引く山の眠りけり　高橋和枝

特選
山麗の一戸ゆるがす猟銃音　栗城静子
小さき手に小さき箱なり赤い羽根　熊谷森子
こだはりもしがらみもそぎ枯蓮　上野節子
蓑の虫や言わぬが花とつぶやきぬ　武田稲子

中学生の部

奨励賞
入道雲まるで受験の壁のよう　菊池高（花巻北中3年）
雨の中蛙があるく音がした　佐々木実泉（湯口中3年）
夏の風楽器の音色のせていく　照井湊愛（西南中3年）
忙しない東京の人西日差す　菊池圭斗（湯本中3年）
せみが飛ぶ太鼓練習の暗い夜　小森林仁菜（大迫中3年）
宿題の終わりが見えぬ夏休み　清水宏仁（矢沢中3年）

【川柳】

総合（複数作品による審査）

一位　小田島花浪
二位　宮野清子
三位　及川洋一郎

宿題の部

特選　寡黙だが背中でもの言う父である　有原すみれ（宿題「背」）
下北をなぞるわたしの葬頭川　小田島花浪（宿題「地図」）
畳紙を開き朝から落ち着かず　宮野清子（宿題「開く」）
長く生き出合い様々みな宝　丹野ウメ子（宿題「自由吟」）

席題の部

特選　人生の伴侶に悩む分岐点　村松歩（席題「考える」）
紅葉の道で詩人になっている　あべ和香（席題「歩く」）

中学生の部（宿題「月」）

特選　どんな日も僕らを見てるお月様　浅沼天（西南中3年）
秀逸　君と月気づけばいつもそばにいる　伊藤真桜（同）
佳作　十五夜のお団子かくれて口の中　佐々木彩花（湯口中3年）
ぼくのゆめはるかとおくの月に行く　八重樫胡桃（西南中1年）
皆見てる今も昔も同じ月　堀岡咲紀（西南中3年）

中学生の部（宿題「話」）

特選　何気ない会話一つで笑いあう　菊池愛依（西南中3年）
秀逸　話し合いみんなの中が深まる日　佐藤碧衣（西南中1年）
佳作　話し合い笑い合うのもあと少し　藤原朱理（西南中3年）
けんかして少したてばまた会話　藤原彩花（同）
家族との思い出話なつかしむ　照井日菜（同）

【随筆】

芸術祭賞　「笑顔の意味」　佐々木澄礼（花巻南高）
優秀賞　「同じ本を三年越しに」　阿部朱夏（同）
奨励賞　「スタンドに届かなくても」　昆律希（同）
佳作　「唯一無二」　工藤詩乃（同）
「高所恐怖症」　菊池久代
「夏の岩手山」　高橋恵理子

＊入選者の敬称と選者は省略。入選作品は、作品集にまとめて市ホームページに掲載しています。詩や随筆を読むこともできますので、ぜひご覧ください